

セハードの悠久を憩う茶会
山田大使挨拶（2018年10月12日）12:30～

- みなさん、こんにちは。
- 裏千家ブラジルの林宗一（はやし・そういち）先生、セラミカ・ホンジョウの本城先生、菊地委員長、「日本人伯移民110周年」という記念すべき年に、ここセハードの大地にて、このように盛大にお茶会が開催されることに心よりお祝いを申し上げます。またこのような特別な機会にお招きを頂いたことに妻ともども心より感謝を申し上げます。
- さて、茶道は日本の伝統文化の1つですが、その根底には「一期一会」という考え方があります。「一期一会」とは、茶会に臨む際には、その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いの場であるということを得て、亭主・客ともに互いに誠意を尽くそうという心構えを意味しています。私自身、一期一会の言葉を胸に、皆様との出会いを楽しみにしてここアナポリスまでやって参りました。
- 本日は、本城先生による陶芸とブラジリア草月による生け花も展示されると伺っています。風流な野点に加えて、日本文化を美しく彩る上で欠かせない陶芸と生け花も味わえる貴重な機会となっています。
- 本お茶会を通じて沢山の方々が日本文化の奥深さに触れて頂くとともに、110年前の笠戸丸のブラジル到着以降、両国民が紡いできた日伯の友好関係が益々発展していくことを祈念しまして私からの挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

（了）